



《将来に向けた取組方針》

東京センチュリーグループは、環境問題への取り組みが重要な経営課題のひとつであると認識し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえて、事業活動のあらゆる分野において、環境汚染の予防、温室効果ガスの排出削減、気候変動の緩和・適応、生物多様性および生態系の保全など環境問題に配慮し行動することで、持続可能な循環型経済社会および脱炭素社会の実現に貢献します。

《具体的取り組み事例》

【生物多様性への正の影響を増加させる活動】



ホテル事業 (ホテルインディゴ軽井沢)

伐採期を迎えた木の積極利用や建設時に移植した木々の再移植、新たな植林による緑の保全等。



寄付型コーポレート PPA

自然災害で消滅した森林や里山保全活動や兵庫県内の森づくりを行う団体への寄付。



その他の寄付・ ボランティア活動

生物多様性保全につながるその他の寄付・ボランティア活動はこちら。

【生物多様性への負の影響を低減する活動】



環境・社会に配慮した 投融資方針

“環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献する”という経営理念の実現と社会課題の解決を通じたグループの持続的な企業価値向上を目指し制定。



地産地消型 バイオマス発電事業

地域の森林資源や木質チップを燃料として活用し、燃料運搬に伴うGHG排出量を低減。



プラスチック問題への 対応目標

生態系を含めた海洋環境に影響を与えるプラスチック使用製品等の排出抑制目標を策定。